

辛丑花巻一

春興

越富山

鶯の舎里一やむのあさほく事	祖梅
烏帽子折の朝お似合一梅北を	桃五
花を以て行も帰も春の山	白龜
ほのくと陽家の雪川朽木うね	有六
春の日は思ふ春をさく木芽外	歌村
夕月の影くくくや	遊志
を不目を好ましくはく梅のふ	週五
八九尺築えおき見おの雪葎笛	以文
戸冴れお寐てハ居らき去	甫人
山北尾や春の尾も出く雉の春	枝采

梅の鳥や春家れを春市門 操 飛高山 長等  
 味増あれえ喰お多し春北山 會津鹽川 三石

春あきて人鳴く梅の外西知 直生

